

『教育振興基本計画』（国）

新たな川越市教育大綱における施策の方針  
（第四次川越市総合計画における施策の大綱と整合）

●今後の教育政策に関する基本的な方針

生涯にわたる「可能性」と「チャンス」の最大化に向けた視点と、教育政策を推進するための基盤に着目し、五つの方針により取組を整理

【教育・文化・スポーツ】  
歴史と文化を感じながら学びあい、豊かな心を育むまち

1. 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する

- （確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成等）
- （問題発見・解決能力の習得）
- （社会的・職業自立に向けた能力態度の育成）
- （家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進）

2. 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する

- （グローバルに活躍する人材の育成）
- （大学院教育の改革等を通じたイノベーションを牽引する人材の育成）
- （スポーツ・文化等多様な分野の人材の育成）

3. 生涯学び、活躍できる環境を整える

- （人生100年時代を見据えた生涯学習の推進）
- （人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進）
- （職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進）
- （障害者の生涯学習の推進）

4. 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する

- （家庭の経済状況や地理的条件への対応）
- （多様なニーズに対応した教育機会の提供）

5. 教育政策推進のための基盤を整備する

- （教育政策推進の基盤）
- （新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制の整備等）
- （子供の健康や安全を守るための関係者の連携の推進）
- （ICTの利活用のための基盤の整備）
- （安全・安心で質の高い教育研究環境の整備）
- （私立学校の振興）
- （教育研究の基盤強化に向けた高等教育のシステム改革）
- （日本型教育の海外展開と我が国の教育の国際化）

